

第47回 鳥取市文化賞受賞者

ごんすい ほうせん 言水 抱泉〔書道〕



【受賞理由】

長年、書道教諭として高等学校に勤務する中で、多くの書道人を育成しており、平成20年に第1回全国高校生大作展大作準大賞をはじめ、各全国書展において多数の入選者を送り出している。また、書道パフォーマンスでは、鳥取県における先駆的指導者として活躍し、平成24年の全国高校書道パフォーマンス選手権大会で初の全国優勝を達成するなど輝かしい成績を収めている。

個人としても、(公財)独立書人団主催の令和4年独立選抜書展において準会員賞を受賞するとともに、会員に推挙されたほか、(一財)毎日書道展でも毎日賞をはじめ秀作賞等々を受賞している。

【経歴】

- 平成4年4月 鳥取東高等学校入学と同時に、柴山抱海氏に師事。
平成13年3月 新潟大学教育学部特別教科書道教員養成課程卒業。
平成16年4月 鳥取県立高等学校教諭として、鳥取東高等学校に赴任し、その後13年間同校に継続勤務。
平成17年3月 第28回鳥取書道連盟展にて新人賞の受賞を機に、鳥取書道連盟および鳥取県書道連合会の活動に取り組む。
平成20年1月 公益財団法人独立書人団主催第57回独立書展準会員昇格
平成28年4月 鳥取県立八頭高等学校教諭として赴任し、現在に至る。
平成29年4月 鳥取書道連盟理事長に就任し、現在に至る。
平成29年4月 山陰書人社、鳥取独立書人団事務局長に就任し、現在に至る。
平成29年4月 鳥取県書道連合会常任理事・審査員に就任し、現在に至る。
令和2年 鳥取県美術展覧会において無鑑査に就任し、現在に至る。
令和3年4月 岩美町立岩美中学校運営協議会委員に就任し、現在に至る。
令和4年5月 鳥取市美術展審査員に就任し、現在に至る。
令和4年6月 公益財団法人独立書人団主催 独立選抜書展において会員に推挙され、現在に至る。
令和4年9月 一般財団法人毎日書道展において、規定により、来年度から会員へ昇格決定。

【受賞歴】

<個人>

- 平成16年1月 公益財団法人独立書人団主催 第52回独立書展 特選受賞
平成17年1月 公益財団法人独立書人団主催 第53回独立書展 特選受賞
平成20年1月 公益財団法人独立書人団主催 第57回独立書展 準会員昇格
平成28年7月 第68回一般財団法人毎日書道展毎日賞受賞
平成30年9月 第62回鳥取県美術展覧会 県展賞受賞
令和元年9月 第63回鳥取県美術展覧会 県展賞受賞
「あなたが好きな作品賞」受賞
令和元年7月 第71回一般財団法人毎日書道展 秀作賞受賞
平成17、平成27、平成30、令和4年
第57、67、70、73回一般財団法人毎日書道連佳作賞受賞
(規程により令和5年度から会員昇格)

令和 4年6月 公益財団法人独立書人団主催独立選抜書展 準会員賞受賞(会員推挙)

令和 4年8月 審査第15回全国公募書道展「放哉を書く」放哉大賞・鳥取県知事賞受賞

<指導者>

≪毎日新聞社毎日書道会主催 国際高校生選抜書展関係≫

平成18年 第14回国際高校生選抜書展
鳥取東高等学校 シルス・オンサクル外務大臣賞受賞
鳥取東高等学校 団体 地区準優勝

平成19、平成20、平成21、平成22、平成23、平成24年
第15～20回国際高校生選抜書展鳥取東高等学校 団体
地区優秀賞

平成25年 第21回国際高校生選抜書展
【団体の部】鳥取東高等学校 中国地区優勝

平成28、平成29、平成30年
第25、26、27回国際高校生選抜書展
【団体の部】八頭高等学校 中国地区準優勝

≪公益財団法人独立書人団主催 全国高校生大作書道展関係≫

平成19年6月 公益財団法人独立書人団主催 第1回全国高校生大作書道展
鳥取東高等学校 大作準大賞受賞(全国3位相当)

平成24、25、27年
公益財団法人独立書人団主催 第6、7、9回全国高校生大作書道展
鳥取東高等学校 大作優秀賞受賞

令和2、3、4年
公益財団法人独立書人団主催 第14、15、16回全国高校生大作書道展
八頭高等学校 大作優秀賞受賞

≪書道パフォーマンス大会関係≫

平成22年7月 第3回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会
鳥取東高等学校 紫舟賞受賞

平成23年1月1日 第6回書道ガールズ甲子園第3位
(主催：日本テレビ 撮影場所：とりぎん文化会館)

平成24年 第5回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会
鳥取東高等学校 全国優勝

平成25年 第6回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会
鳥取東高等学校 審査員特別賞受賞

平成29年 第10回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会
八頭高等学校 出場

【主な活動】

平成 4年4月 鳥取東高等学校入学と同時に、柴山抱海氏に師事。

平成30年～ 因州和紙共同組合(4/21)をはじめ、国際ソロプチミスト鳥取(8/23)などの諸団体に対し、書を通じた若者育成について、書道パフォーマンスを題材とした講演を行う。

平成30年・令和4年

全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会、第11回大会と第15回大会において、解説者として招聘される。南海放送主

催の愛媛県内ローカル放送、全国地上波リアルタイム配信の番組において、出場校約 20 校の演技について実況、解説を行う。

- 令和 元年 9 月 第 63 回鳥取県美術展覧会 県展賞受賞作
「あなたが好きな作品賞」受賞作 「静自適」(縦 223×横 53cm)
- 令和 3 年 1 2 月 第 33 回全国高等学校文化連盟研究大会(島根大会)において、書道パフォーマンスに取組んだ 12 年間の実践発表を行う。
- 令和 4 年 5 月 第 49 回山陰書人社展
第 49 回展賞受賞作「輝」(縦 240×横 270cm)
- 令和 4 年 6 月 公益財団法人独立書人団主催 独立選抜書展
準会員賞受賞作「舞」(縦 179×横 76cm)

【活動に対する思い】

形が重んじられる書の一般的概念に加え、本来、書が有する精神性、運動性、音楽性など、芸術のあらゆる分野に通ずる素晴らしさを多くの人に広め、更に書を楽しんで頂きたいと願っています。また、歴史に通ずる価値観を共有し、より鳥取の文化向上に少しでも寄与したいと思っています。

高校生への指導に対しても、書道パフォーマンスをはじめとし、書を通した感動や、新たな価値観との出会いを今後の人生に活かして欲しいと願っています。また、人との出会いや、仲間づくりを大切に、生涯を通して、書文化に親しみ、今後の社会を引っ張ってくれる人材になってくれることを願いながら、共に取り組んでいます。

鳥取書道連盟をはじめとする、地域社会全般に対しては、柴山抱海先生をはじめ、多くの方々のご指導を請けながら、鳥取の書文化がより豊かで、世界へ通用するものとなるよう、少しでも力になりたいと思っています。

また、何より自分自身が、書を通した人やモノとの出逢いを宝物とし、いつまでも成長し続けられる書道人であり、社会人になれるよう精進し、研鑽し続ける所存です。

【作品に対する思い】

師匠柴山抱海先生に出会い、書道人として、書作品や社会に対して、“求めるべき世界”というものを学んでいます。

歴史的価値あるものとして、この世に遺された普遍的な“美”を学び、個人的には、中国の書家・顔真卿や、日本の空海のような大きな骨格と、豊かで堂々とした作品を目指しています。また、柔軟性に長けた羊毛筆を使い、表現の多様性にも挑戦しています。

近年は特に、中国漢時代の瓦に刻された、直線的な古典をベースとして、直線的な効果を取り入れ、現代的な作品にすることを目指しています。

古典から学び、人から学び、書を通して深く、大きく、豊かな人間になりたいと願い、目の前の書に全力で向かっている段階です。

【現在】

鳥取県立八頭高等学校教諭